

Eメールニュース「みやぎの九条」 NO. 333

2020年11月1日発行／みやぎ憲法九条の会

Home Page <http://miyagi9jou.sakura.ne.jp/>

緊急署名(10/30現在)

宮城県内9条の会連絡会：3,122筆 他団体：3,127筆

合計 緊急署名推進センターの集約：6,249筆

*『改憲発議に反対する緊急署名』は11月19日に国会提出を予定しています。署名をお持ちの方は、11月4日(水)必着で集約センターにお送りください。

送付先：署名推進センターみやぎ(〒981-0933 仙台市青葉区柏木1-2-45 4F 宮教組 気付)

*「改憲発議に反対する全国緊急署名用紙」新しくなりました。地域の九条の会で配付希望されるところはみやぎ憲法九条の会事務局に必要枚数をお申込みください。申し込みされたところには宅急便でお送りします。

*署名は県名よりしっかり書きましょう。「●●市」などは他県に同名の地名がある場合は除かれます。もちろん、「同上」「〃」は不可です。国会提出時に大変な苦勞となっています。よろしく願いいたします。(「憲法共同センター」よりの連絡再)

内閣府大臣 様
衆議院議長 様
参議院議長 様

9条改憲NO!
改憲発議に反対する全国緊急署名

2019年7月の参院選では、改憲に賛成する勢力が3分の2を割りました。有権者は当時の安倍首相に憲法9条の現況による改憲発議の可否を問うた方々ではありません。この時、民意が改憲について論議すべきという意思を表明した。念と念く憲法に反対する意思を込めていた市民は、2020年9月18日、安倍改憲NO!の真々たる世論の運動の前進に、何れも賛同し、改憲を断念させませんでした。政府が果たすべき課題は、コロナ対策をはじめの出陣しています。議論の多くは改憲を断念すべきです。

貴府が継承した「安倍改憲」は、日本の軍事大国化をさらに進め、「戦争をする国」に変えようとするものです。もし、9条をはじめとする自民改憲4項目による改憲の実現すれば、日本は米国とともに世界最強の競争や競争に参入・参加していくことになるでしょう。

本署名は緊急です。

私たちは国会が改憲の発議をするよりも、憲法改正能力の保有(など)という憲法に反する解釈も踏まえず、すべての国民の平和と人権、生活の向上のための、憲法を守り、守るべきことを求めます。

【お願い事項】

1. 安倍前首相らがすすめる憲法9条などの改憲発議に反対します。
2. 憲法を生かし、平和・人権・民主主義・生活の向上が実現する社会を求めます。

名 前	住 所
	姓
	名
	姓
	名
	姓
	名
	姓
	名
	姓
	名

集約したい署名は緑色の欄と白欄への記入は問いません。

〒981-0933 仙台市青葉区柏木1-2-45
全国緊急署名推進センターみやぎ
TEL: 0981-351-1664
FAX: 0981-351-1665
Eメール: miyagi9jou@sakura.ne.jp
Web: <http://miyagi9jou.sakura.ne.jp>

〒981-0933 仙台市青葉区みやぎ2-4-2
全国緊急署名推進センター
TEL: 0981-351-1664
FAX: 0981-351-1665
Eメール: miyagi9jou@sakura.ne.jp
Web: <http://miyagi9jou.sakura.ne.jp>

11月の「19日行動」

19日行動は2015年9月19日に9条に違反する「安保法制強行採決」したことを忘れず、「安保法制廃棄」を求めて毎月行っている運動です。

- 仙台市：11月19日（木）12:00～13:00 場所：仙台市中央通東二番丁 平和ビル前
- 石巻市：11月19日（木）15:00～16:00 場所：石巻工業高校前・蛇田交差点
- 涌谷町：11月19日（木）13:00～13:30 場所：涌谷公民館前交差点
- 小牛田：11月19日（木）13:00～13:30 場所：国道108号山の神神社前交差点
- 気仙沼市：11月19日（木）11:00～11:30 場所：クボ店前

気仙沼九条の会では同じ場所、時間帯で「9の日行動」（憲法9条守れ）、「25日行動（辺野古埋立開始に抗議して）」の月3回のスタンディングをしています。

宮城県内九条の会連絡会の街頭宣伝は毎週火曜日

場所：仙台市中央通東二番丁 平和ビル前。

時間：12時から13時まで。

実施日：11月10日、24日（3日・17日はお休み）

11月3日は澤地久枝さんの提唱「アベ政治を許さない！」Day！！

- ・ 午後1時キッカリに「アベ政治を許さない！」ポスターを掲げましょう。

- 名取市 ヤマザワ前道路交差点
- 涌谷町 涌谷公民館前交差点
- 宮城野区 坂下交差点

【これからの県内催事情報】

男女共同参画推進せんだいフォーラム 2020

女性議員を増やし、政治を変えよう！～ポストコロナの新しい社会のために～

この間のコロナ危機によって、政治の在り方が私たちの直結していることに改めて気づかされています。一方、日本は女性議員・女性首長の数が諸外国に比べても極端に少ない現状にあります。女性議員を増やせば政治や社会はどう変わるのでしょうか。

日時：11月14（土）13：30～15：45

会場：エル・パーク仙台6F ギャラリーホール（141ビル仙台三越定禅寺通り館）

基調講演：「女性の政治参画」

長谷川公一さん（東北大学名誉教授・尚絅学院大学大学院特任教授）

ディスカッション：「女性議員を増やせば、政治はどうか変わるの？」県内女性議員の皆さん

報告：「国会におけるジェンダーフリー」石垣のりこさん

主催：（公財）せんだい男女共同参画財団

企画運営：「女の平和」ピースアクションみやぎ・宮城女性九条の会

連絡先：090-5832-6836

宮城県内九条の会連絡会学習会

「敵基地攻撃能力ってなに？」

陸上配置型迎撃ミサイルシステム「イージス・アショア」導入断念に伴い、政府・自民党が新たなミサイル防衛策と抑止力強化の議論に着手。自民党関連会合に有識者として呼ばれた谷内前国家安全保障局長は「一定の打撃力を持つべきだ」と提案。政府は敵の攻撃を防ぐために他に手段がなければ、敵基地攻撃の範囲内という立場。（時事ドットコム 7/1）

日時：11月21日（土）13：30～17：00

会場：仙台市シルバーセンター第一研修室

講師：本田勝利さん（宮城県平和委員会理事）

主催：宮城県内九条の会連絡会

紹介

憲法会議と日本平和委員会で「『敵基地攻撃能力』っていったいなに？」というパンフを発行しました。みやぎ憲法九条の会で500部取り寄せました。学習のために必要という宮城県内の地域九条の会には一部10円にてお分けします。

ご希望の九条の会は九条の会名、申込者、電話番号、送付先住所を明記の上、みやぎ憲法九条の会にメールもしくはFAXでお申し込みください。代金は金額の郵便切手をみやぎ憲法九条の会事務局にお送りください。FAX：022-2776-5160



戦争を語りつぐ上映会（11月）

「沖縄・戦世の記録」～戦場の住民たち・日本とアメリカのはざままで～

～1フィート映像の証言～

アメリカ国立公文書館などに収蔵されている沖縄戦の記録フィルムを一人1フィート（約30秒）分購入し、記録映像を通して沖縄戦の実相を伝えてきた「1フィート運動の会」が制作した「ドキュメント沖縄戦」の映像を通して、歴史の重みをひもとく。

第1回「戦場の住民たち」は、これまでほとんど映像を発見できなかった南部戦線や、住民の半数が亡くなった伊江島など、映像に刻まれた戦火のもとで逃げ惑う住民たちの姿を見つめ、沖縄の人々の平和への願いを伝える。

第2回「日本とアメリカのはざままで」は、非戦闘員を巻き込んだ激しい戦闘の映像。彼らは日本軍からは差別され、米軍からは占領の口実にされた。そして今も基地の状態は続いている。その苦難の歴史をふりかえりつつ米軍の沖縄占領を正当化する「マイノリティの論理」について考える。（1995年放送、90分）

■同時上映「戦後 75 年 東北の戦争を語り継ぐ」

「知られざる戦争の痕跡（宮城・松島町）」、「艦砲射撃を語り継ぐ（岩手・釜石市）」、「最後の空襲」記憶を伝える（秋田市土崎）」の3本を紹介。東北地方で戦争を経験した方々の証言を振り返り、戦争を語り継ぎます。（2020年放送、23分）

日時：11月17（火）13：00～15：00（参加費：無料）

会場：泉病院友の会ホール（仙台市泉区長命ヶ丘2-1-1）

主催：泉病院友の会平和の委員会

申込先：泉病院友の会378-3883 定員10名（要事前申込）

*ご参加の方は、マスクの着用をお願いします。

鶴ヶ谷地域九条の会「憲法C a f e」

太平洋戦争直前と最近の世相～昭和13～14年の日記から～

コロナ禍生活の中で発見した昭和13年～14年にかけての父の日記。当時の身の回りに起きた、日々のできごとが記されているが、今の世相とどこか似ている。京大滝川事件（昭和8）、美濃部天皇機関説事件（昭和10）を経て、昭和13年は近衛内閣が国家総動員法を制定。後の太平洋戦争に至る国民精神と戦争遂行体制を整えた年でもあった。戦後、戦後と云っているうちにいつの間にか戦前にならないように願って。

日時：11月28日（土） 午後1時30分～3時30分

会場：鶴ヶ谷市民センター第一会議室

話題提供：千田卓内さん（安養寺2丁目在住、当会会員）

（気楽に自由に話し合いませんか。どなたでも参加できます。）

主催：鶴ヶ谷地域九条の会

事務局：篠原富雄（鶴ヶ谷2丁目 090-8780-8091）

「平和憲法を考える～鈴木義男から学ぶ～」

今では当たり前のように存在する「日本国憲法」ができたのは終戦の翌年1946年。その条文の作成には数多くの日本人の叡智が込められており、福島出身の鈴木義雄（1894～1963年）の「平和的生存権」の思想もその一つです。

戦前、軍事教練の導入に反対したことから東北大の教壇を追われ、その後は弁護士として人権侵害や治安維持法違反者の弁護に尽力。戦後、国会議員となり9条の「平和」の文言の提案、GHQ憲法草案になかった25条（生存権）の追加、弁護士時代の経験から国の不法行為に対する国家賠償請求権、冤罪者に対する刑事補償請求権の追加に努めました。

10代で東北学院に学び、晩年東北学院理事長を務めた。その生涯を憲法とのかかわりについて学び、「憲法改正」阻止と平和を守る意義について考えてみませんか。

映像：「義男ギダンさんと憲法誕生」（58分）

お話：仁昌寺 正一さん（東北学院大学名誉教授）

日時：11月29日（日） 13：30～15：30 （参加費無料）

会場：泉区加茂市民センター （仙台市泉区加茂4-2）

*参加の方は、マスクの着用をお願いします。

主催：9条を守る加茂の会

連絡先：油谷重雄（加茂5丁目） TEL・FAX：022-378-5765

2020年度「平和と民主主義を学ぶ旅」学習会

「布施辰治の足跡から学ぶ」～石巻出身で人権を擁護し続けた弁護士の生涯～

「生きべくんば民衆とともに、死すべくんば民衆のために」（顕彰碑碑文）

石巻市旧蛇田村出身の弁護士、布施辰治（1880～1953年）の言葉が碑文に刻まれています。布施が弁護に当たったのは、米騒動、労働争議、小作争議、入会権争議、大逆事件や独立運動を行った朝鮮と台湾の人々、社会主義者などで、弁護士資格を奪われ、治安維持法違反などで2度の投獄に遭いながらも彼らに寄り添い続けました。

戦後は、三鷹事件、松川事件などの弁護にあたり、韓国政府からは、国家の独立と発展に貢献したとして「建国勲章」を授与されました。

日本近現代史の人権弾圧と植民地支配の歴史を振り返りながら、政府の圧力に抗して、民衆を法律で擁護した足跡から平和について学びます。

映画： 「弁護士 布施辰治」（2012年公開、98分、ドキュメンタリー）

お話： 三條信幸さん（布施辰治顕彰会事務局長）

日時： 12月5日（土） 13：00～15：00 参加費無料

会場： 泉区加茂市民センター研修室（仙台市泉区加茂4-2）

* 感染症のため現地訪問の「旅」を中止して学習会を開きます。

* ご参加の方は、マスクの着用をお願いします。

主催： 泉病院友の会平和の委員会

連絡先： 泉病院友の会 378-3883

戦争を語りつぐ上映会（12月）

「果てなき殲滅戦（せんめつせん）」～知られざる日本本土上陸作戦～

75年前、九州南部は無残な殺戮の戦場となろうとしていた。1945年夏、沖縄戦後アメリカ軍は「オリンピック作戦」と呼ばれる九州南部への上陸作戦計画を進めていた。米陸軍参謀総長ジョージ・マーシャルの肉声テープには、「アメリカ軍は9個の原爆準備していて、九州南部（鹿児島）への上陸作戦に間に合うはずだった。この作戦が実現していたら、恐るべき事態になっていただろう」との発言が残されている。

兵力は米軍史上最大規模の76万。何故空前の作戦が進められるに至ったのか。作戦の舞台裏を追跡、すると驚愕の作戦が次々と遂行されようとしていたことが明らかに。

（2020年放送、48分）

■同時上映「ノモンハン 責任なき戦い」

81年前、モンゴル東部の大草原で、日ソ両軍が激戦を繰り広げたノモンハン事件。ソ連軍が大量投入した近代兵器を前に、日本は2万人に及ぶ死傷者を出した。

この戦争は。情報を軽視した楽観的な見通しや、物量より優先される精神主義など、太平洋戦争でも繰り返される“失敗の本質”が凝縮されていた。しかし軍は、現場の将校には自決を強要した一方で、作戦を主導した関東軍のエリート参謀たちはその後復帰させ、同じ失敗を重ねていった。

ソ連軍の記録映像を着色し、戦場の実態を現代によみがえらせる。さらに軍の判断の経緯が証言された、陸軍幹部の肉声テープから敗北はどのようにして隠され、失敗は繰り返されたのか。映像と証言から迫る。（2018年、73分）

◇日時：12月10（木）13：00～15：00（参加費：無料）

◇会場：泉病院友の会ホール（仙台市泉区長命ヶ丘2-1-1）

◇主催：泉病院友の会平和の委員会

◇申込先：泉病院友の会378-3883 定員10名（要事前申込）

* ご参加の方は、マスクの着用をお願いします。